



岩崎家文書移民関係資料

資料
番号

760

共々の天新し中

久困世路に多事忙殺せられ報
告で有りて耻す今や吾人は四十年
を暮らして言ふ事愉快なる新序で迎
ふ余元々も此知りもも愉快なる
懐け聊か池に於て此中の中持と
ちを吾人同胞は四面楚歌に抱へ存
りて果して何せおわすも吾人の信
託も能く下年の大計で成せしめ余
教宗は吾人青年の思想回界を向
上の一踏を踏すを得し。神一余
等は今余の思ふ思ふに吾人の
何等の得るべき文の所を新者合
成試み此中を布つても二の夜に
如く一年已可なりて是も吾人の
驛驛現を大見出等。此中を
たす事、世に及たす目的の彼岸に
達せしむる言ふ事、此中を
信し以て聊か此中を
信す。

一月えら

在る
うり崎幸一卿

